

新たな四国圏広域地方計画に係る市町村からの 計画提案への対応について（案）

いただいた計画提案については、その詳細について、別添「新たな四国圏広域地方計画に係る計画提案の整理について」に記載しているところであるが、9件全件について、当該計画提案に係る全部又は一部を実現することとなる新たな四国圏広域地方計画を作成することとする。

新たな四国圏広域地方計画に係る計画提案の整理について（案）

新たな四国圏広域地方計画に対する計画提案

都府県名	市町村名	提案No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討資料における関連箇所		計画提案の理由	計画提案の対応方針
				中間整理頁	PTNo. 関連箇所		
徳島県	海陽町	1	鉄道の利用促進に関する施策を盛り込むこと。四国内を周遊する鉄道ルートについて計画に記載。	32	広域観光ルートの設定や、受け入れ環境の整備によるインバウンド観光の促進	海陽町においては、鉄道の利用促進策として、広域的な観光ルートへの提示をしていくことを考えている。特に四国内を周遊するルートのプランづくりやツアー一造成の検討を行う予定である。阿佐東線やこめん奈半利線については、行き止まり感もたれているが、公共交通である路線バスとの組み合わせにより課題解決が図られる。観光客の目線の取り組みが必要と考えられるため、この計画の中で重点的に推進されることにより、広域観光周遊ルートの周知や利用効果が高まることを期待できる。	第3部第5章第3節4)(広域観光周遊ルートの設定や、受け入れ環境の整備によるインバウンド観光の促進)及び第4部プロジェクトNo.3(美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト)に主旨を反映。
		2	道の駅に関する取組を重点的に推進すること	28	「第4章 中山間地域・半島部・島しょ部等や都市間が補完しあい活力あふれる四国」の第3節に関する事項	今や道の駅は地方創生の拠点施設として位置づけられ、鳴門市においては道の駅が1箇所存在するが、市内の農水産業振興の活性化や、交流人口増加の観点から、道の駅新規設置を検討したいと考えている。そこで道の駅新規設置の促進についてより支援をいただき、四国で道の駅ネットワークを築いていけるようお願いをしたい。	第3部第4章第2節3)(基幹集落に暮らしの安心を支える複数の生活サービスや地域活動の場を築いた「小さな拠点」を核とし、中山間地域・半島部・島しょ部等の維持・活性化を図るための仕組みづくりの推進)に主旨を反映。
		3	四国新幹線整備に関する取組みを推進すること	29	「第5章 歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国」の第3節に関する事項	四国に新幹線が整備されることは、交流人口の増加により、鳴門市はもとより、四国全体の地方創生につながることで考えている。そのため、四国新幹線の整備について計画に盛り込んでいいただきたいと考えている。	第3部第5章第2節2)(高規格幹線道路や鉄道の高速化等による広域交通ネットワークの強化により、圏域内や近隣の中国圏・近畿圏・九州圏等との連携・交流を促進)に趣旨を反映
		4	高速道路の利用を促進した交流人口増加の取組み推進について	29	「第5章 歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国」の第3節に関する事項	鳴門市は、淡路島と四国を結ぶ大鳴門橋の開通によって、関西と四国を結ぶ結節点となっているが、高速料金の割高感から、四国まで足を伸ばしてくれないケースもある。そこで関西からの四国への観光客増加のために、高速道路の利用促進について計画へ反映していただきたい。	第3部第5章第3節2)(高規格幹線道路や鉄道の高速化等による広域交通ネットワークの強化により、圏域内や近隣の中国圏・近畿圏・九州圏等との連携・交流を促進)に主旨を反映。
		5	サイクリングツーリズムを利用した交流人口増加の取組み推進について	36	「第4部広域プロジェクト」のプロジェクトNo.3「自転車・オート・八十八景を中心とした「視国」観光活性化プロジェクト」に関する事項	四国ではサイクリングツーリズムが盛んになってきており、鳴門市でもその活性化を図るため、自転車道の整備や大鳴門橋の自転車通行可能性などについて検討をお願いしたい。	第4部プロジェクトNo.3(美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト)に主旨を反映。

新たな四国圏広域地方計画に対する計画提案

都府県名	市町村名	提案No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章)	中間整理頁	中間整理又はプロジェクト(PT)検討資料における関連箇所		計画提案の理由	計画提案の対応方針
					PTNo.	関連箇所		
香川県	高松市	6	四国の新幹線の整備について	31	2) 高規格幹線道路や鉄道の高速化等による広域交通ネットワークの整備、強化により、圏域内や近隣の中国圏・近畿圏・九州圏等との連携・交流を促進	四国の新幹線の整備について、未反映の状態になっている。これまで、四国各県、四経連では四国の新幹線導入に向け、整備計画格上げについて、国へ要望している。市としても、圏域内における高速交通体系とともに、他圏域、大都市圏とを結び交通ネットワークが不可欠であり、人口減少が進む中、交流人口の拡大により観光振興を図るためにも、新幹線の整備は欠かせないと考える。	第3部第5章第3節2) (高規格幹線道路や鉄道の高速化等による広域交通ネットワークの整備、強化により、圏域内や近隣の中国圏・近畿圏・九州圏等との連携・交流を促進)に趣旨を反映	
愛媛県	東温市	7	四国圏における地域活性化や大規模災害等への迅速な対応のため、スマートインターチェンジ(以下、「スマートIC」という。)の整備を重点的に推進すること。	P.14 P.25 P.33 P.38	「防災力向上プロジェクト」の(1)～(2)に関する事項 「産業競争力強化プロジェクト」の(1)に関する事項	東温市においては、既存企業の振興と企業誘致による地域経済の活性化を図り、地域の発展を目指すため、スマートICの整備に向けた検討を進めている。 また、本市には、基幹的な総合病院や陸上自衛隊松山駐屯地が立地し、さらには平成29年度に愛媛県警察機動隊庁舎が完成予定となっており、スマートICの整備は、救急医療施設への救急搬送、大規模災害における自衛隊、県警等の迅速な派遣・初動活動など、広域的な救命・救急医療や防災力の向上につながる。 こうしたスマートIC整備の取組が四国圏広域で重点的に推進されることにより、産業・経済活動の活性化や広域観光・交流の促進、救命・救急医療や防災力向上の効果が高まることが期待される。	第4部プロジェクトNo.1 (南海トラフ地震をはじめとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト)及びNo.5 (地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト)に主旨を反映。	
愛媛県	今治市	8	サイクリングに関する取組を重点的に推進すること	36	「自転車・アート・ハート」八景を中心とした「視国」観光活性化プロジェクトの取組に関する事項	今治市においては、多くの来訪サイクリストの受入環境の整備が喫緊の課題となっており、地域再生計画に基づき瀬戸内しまなみ海道沿線地域におけるサイクリストの受入れ機能を高めるための拠点であるサンライズ系山の駐車場、駐輪庫、その他施設の段階的な拡張工事や環境整備、また重点「道の駅」における外国人サイクリストにも対応できる環境を整備することにより、地域への誘客促進の効果が期待できる。	第4部プロジェクトNo.3 (美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト)に主旨を反映。	

新たな四国圏広域地方計画に対する計画提案

都府県名	市町村名	提案No.	計画提案の内容(計画に記載すべき文章案)	中間整理又はプロジェクト(PT)検討資料における関連箇所		計画提案の理由	計画提案の対処方針
				中間整理頁	PTNo.		
高知県	本山町	9	<p>○アウトドアの里づくり事業 H27年度～29年度</p> <p>①施設整備計画 1)アウトドアビジターセンター(仮称) 2)宿泊・飲食・研修機能施設整備 3)キャンプ機能施設 ②施設機能 ・川、山等でのアウトドア体験機能 ・自然等の体験情報発信 ・小、中、高校等教育面での体験活動受入 ・企業、団体による研修</p> <p>※近隣町村と連携したアウトドア体験・情報機能の整備。</p>	XX	XX	<p>(現況・課題) 自然を活かした交流人口の拡大に取り組んでおり、吉野川の豊富な水量で団体競技カヌー場としての活用や初心者カヌー愛好者の利用、小学生などの団体によるラフティング体験など河川を活用した新たな体験活動も増加している。山岳資源を活かした登山コースづくりや森林での案内ガイド育成による受け入れづくりなど自然を活かした体験交流を進めてきた。</p> <p>関西圏・県内小学校、企業によるラフティング体験、カヌーでは競技大会の定期的開催など、一定の受け入れ進められてきたが、受け入れがイベント的な対応しかないため、平日の体験申し込みなど受け入れができない状況である。近年の山岳ブームによる登山へのニーズもあるが、通年を通しての受け入れ態勢が確立できていない。</p> <p>(取り組み概要) 四国の中央に位置し、高速道からのアクセスも良く、高知県のアウトドアの拠点として四国内・外からのアウトドア交流人口の拡大を図る。アウトドア会社と連携してワンストップ窓口の確立と情報発信によるアウトドア拠点づくりを行う。受入体制を確立、イベント的対応から常設のワンストップ窓口による、通年アウトドア体験活動による交流人口の拡大を推進。</p>	<p>第4部プロジェクトNo.3(美しい自然とおもてなしの心による「福国」観光活性化プロジェクト)に主眼を反映。</p>